

全体テーマ 「児童生徒の学びを深める授業づくり」～「伝える力を培うために～」

学部テーマ 『自分の考えや思いをもち、伝え合いながら考えを広げ、活用することができる授業づくり』

クラスシートプラン (合わせた指導 ver)

学級名 中学部2年1組

授業日	11月18日(金) 3校時	取り扱う教科名・段階等	【単元計画】			
教科等名	「磁石の性質」	理科・1段階C物質・エネルギーウ 国語・2段階知技イ(ア)Aウ	活動内容(教科)	知・技	思・判・表	学・人
単元(題材名)			話し合いの仕方、伝え方(国語)	○	○	○
単元(題材)の目標(単元・題材を通しての児童生徒の目指す姿)			磁石につく物(理)2h	○	○	
理科			極の性質(理)2h	○		
(1) 磁石に引きつけられる物と引きつけられない物があることがわかる。 磁石の異極は引き合い、同極は退け合うことがわかる。			磁石の働き(本時)1h	○	○	○
(2) 磁石を身の回りの物に近付けたときの様子について調べる中で、差異点や共通点に気づき、磁石の性質についての疑問をもち、表現することができる。			【本時の流れ】「じしゃくの力は、ものをはさんでも働くか」			
(3) 磁石の性質について進んで調べ、学んだことを日常生活に生かそうとしている。			1、学習の見通し(予想)をもつ 予想を立て、その考えを交流させる			
国語			2、実験・観察			
(1) 考えとそれを支える理由など、情報と情報との関係について理解することができる。			3、結果をもとに考察する(練り上げ) 表にまとめたものをもとに、ワークシートにまとめる			
(2) 見聞きしたことや経験したこと、自分の意見やその理由について、内容の大体が伝わるように伝える順序や伝え方を考えることができる。			4、発表する(意見の交流)			
(3) 言葉がもつよさに気付くとともに、思いや考えを伝え合おうとしている。			5、まとめ			
□各教科の「見方・考え方」を働かせるための「しかけ」(本時)						
□磁石等を操作する時間を十分に確保する。						
□実験する素材は身の回りの身近な物を使い、予想を立てやすくする。						
□ワークシートを準備し、思考や内容を整理する。						
□自分の考えを発表し、それぞれの考えを共有する場面を設定する。						
□選択肢を準備して、自分の意見やその理由を伝えやすくする。						
□前時までの学びを可視化して提示し、根拠をもとにして予想を立てやすくする。						
◎本時の目標(学びの履歴を踏まえた各教科等の指導目標)			○自立活動の視点を踏まえた「配慮・手立て」 ※ 対象生徒1名抽出			
「知識及び技能」		「思考力・判断力・表現力等」		「主体的に学習に取り組む態度」		
◎磁石は離れていても物を動かすかを調べて記録し、磁石の力は物をはさんでも働くことが分かる。		◎実験を通して気付いたことを発表したり、友だちの意見を聞いて考えたりすることが出来る。		◎自分なりの根拠をもって予想を立て、進んでいろいろな物に磁石を近付けて調べようとする。		
○選択肢を提示することで、自信をもって自分の考えを相手に伝えることができるようにしていく。						
○注意集中を持続できるよう、適宜言葉かけなどを行う。						
○友だちの考えを教師が復唱して伝え、様々な意見があることが分かるようにする。						
○予想や見通しが必ずしも正解にならない経験を通して、「予想と違ったけど分かった」などの間違えてもいいという感覚を身に付けることができるようにする。						

P

D